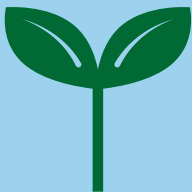


千葉県
ちばけん

こども  若者
わか もの

みらいプラン

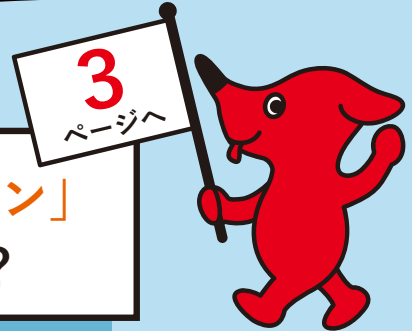


千葉県
ちばけん
CHIBA

やさしい日本語版
にほんごばん

千葉県マスコットキャラクター
チーバくん

なに か
何が書いてありますか？



ち ば けん わか もの
「千葉県こども・若者みらいプラン」
にはなに か
書いてありますか？

ささ あ すべ わか もの か のう せい ひろ ち ば
「みんなで支え合い 全ての こども・若者の可能性を広げる 千葉」
とはどんな 場所ですか？



たいせつ なん
大切にすることは何ですか？



6 ページへ
どんなことをやりますか？

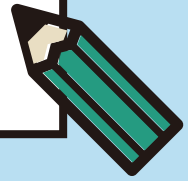


わか もの かんが たい せつ
こども・若者の考えを大切にします



「千葉県こども・若者みらいプラン」

には何が書いてありますか？



「千葉県こども・若者みらいプラン」とは何ですか？

千葉県が、こども・若者が、未来に夢や望みを持てる場所にするために、作った計画です。県は、この計画にそって、こども・若者についてのこと※をやっていきます。

※こどもがおとなになるまで心や体が大きく良くなるのを助けること、こどもを育てる人たちを助けることなどがあります。

計画が目標とする未来の千葉県の姿は何ですか？

「みんなで支え合い全てのこども・若者の可能性を広げる千葉」

こども・若者が

まわりの
おとなたちから
助けてもらえる

とも
友だちと
お互いに
助け合える

ひとり
一人ずつ
みんなが
大切にされる

自分の力を
伸ばせる

場所を目指します。

誰のための計画ですか？

千葉県に住んでいるこども・若者と、こどもを育てている人みんなのための計画です。

いつからいつまでの計画ですか？

2025年4月から

2030年3月まで

5年間の計画です。

「みんなで ^{ささ あ すべ} 支え合い ^{わか もの か のう せい} 全ての こども・若者の 可能性を

^{ひろ} 広げる ^{ち ば} 千葉」とは ^{ば しょ} どんな 場所ですか？

^{じ ぶん} 自分の まま
で いられる

^{じ ぶん} 自分を
^す 好きに なれる

^{えんりょ} 遠慮しないで ^{いろ} 色んな
ことを ^{おも} 思うように
やってみたり、
^{とく い} 得意なことが もっと
できるようになる

^{こま} 困っていることや
^き 気になることが
あっても おとなや
^{とも} 友だちに ^{ささ} 支えられ
^{かいけつ} 解決できる

^{じ ぶん} 自分で ^{かんが} 考え、
それを ^{はな} 話して、
おとなと ^{いっしょ} 一緒に
^{かつどう} 活動できる

こども・若者が

FUTURE

PLANS

^{さ べつ} 差別されない、
ひとりぼっちに
ならない、
^{かね しんばい} お金の 心配がない

^{あん ぜん} 安全に ^{あん しん} 安心
して ^{せい かつ} 生活できる

^{はたら} 働くこと、^{か ぞく} 家族が
^{そだ} いること、こどもを
^{そだ} 育てる人になることに
^{ゆめ} 夢や ^{のぞ} 望みがあると
^{しん} 信じられる

^{じ ぶん} 自分も ^{ほか} 他の
^{ひと} 人も ^{たい せつ} 大切にして、
^{たが} お互い ^{たす あ} 助け合える

そのために… こどもを ^{そだ} 育てている人だけでなく、^{ひと} 住んでいるところの
みんなが ^{わか もの} こども・若者を ^{たす} 助けます。こども・若者も
^{たが} お互いを ^{たす あ} 助け合います。

たいせつ
大切に することは なん
何ですか？



1

こども・若者の 権利を大切に します

こども・若者を 大切にして、こども・若者の 権利を守ります。こども・若者の
幸せを 一番に 考えて、こども・若者の 今と これからの ために
一番良いことを 考えます。

2

こども・若者が 社会に 参加しやすくし、成長を 助けます

こども・若者が 自分の 考えを 言いやすくして、おとなと 一緒に
活動できるように 助けます。得意な ことをして、未来の ために 行動する
こども・若者を 助けます。

3

こども・若者、子育てを している人を 地域や 社会で 支えます

こども・若者が みんなから 愛されて 元気に 大きく なるように します。
そのため、こども・若者と こどもを 育てている人を、
まわりの みんなで 助けます。

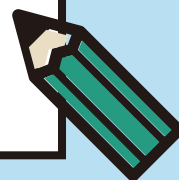
4

若者の 生活を 安定させ、結婚や 子育ての 希望を かなえます

若者が 安心して 仕事や いろいろなことが できるように 助けます。
若者の 考え方を 大切にして、結婚したい人や、こどもを 産み育てたい
人の 望みが かなうように まわりの みんなで 助けます。



どんなことを やりますか？



こども・若者^{わか もの たす}を助けるために やること

わかもの
こども・若者が
げんき せいかつ
元気に生活できるよう
たす
に 助けます。

わかもの けんり も
こども・若者が 権利を 持って
たいせつ
いること、大切に されている
おし
ことを みんなに 教えます。
わかもの じぶん かんが
こども・若者が 自分の 考えを
い じょうきよう
言いやすい 状況をつくれます。

あそ たいけん
いろいろ 遊び、体験して
わかもの じぶん
こども・若者が 自分のままで、
みらい こうどう
未来のために 行動する
たす
ことを 助けます。また、こども・
わかもの あんしん き も
若者が 安心して 気持ちよく
せいかつ
生活できるように します。

わかもの ゆめ のぞ
こども・若者が 夢や 望みを
も おお
持って 大きく なるように、
せいかつ
しっかりとした 生活・
まな かね たす
学び・お金の 助けを
ひつよう ひと とど
必要な人に 届けます。

からだ ふ じ ゆう ひと
体が 不自由な人も
ひと あんしん
そうでない人も、安心
いっしょ せいかつ
して 一緒に 生活できる
ばしょ
場所をつくれます。

わかもの じぶん
こども・若者が 自分から
し
死なないようにして、
こま
インターネットで 困ることや
「わるいこと」、「よくないこと」、
「たいへんなこと」から
わかもの まも
こども・若者を 守ります。

あつか う
ひどい 扱いを 受けることから
わかもの まも おや いっしょ
こども・若者を 守り、親と 一緒に
せいかつ
生活できない こども・若者、
たす
ヤングケアラー*を 助けます。

*ヤングケアラー：勉強^{べんきょう}や 遊ぶ^{あそ}時間が
な いえ ひと てつだ
無いくらい、家のことや 家の人の 手伝いを
わかもの
いつも やっている こども・若者の こと。



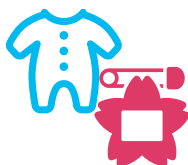


じん せい

じ き

たす

II 人生の 時期に あわせて 助けるために やること



こどもが 生まれる前から 幼児期まで (生まれる前から 6歳まで)

- ① こどもが 生まれる前から 小学校に 入るまで、
親子 一緒に 元気で いられるよう 助けます
- ② こどもを 育てやすい 状況に します



学童期・思春期

(6歳から 18歳まで)

- ① こどもたちが 自分を 信じる 力をつけるための 学びの
基本をつくります
- ② こどもたちが 元気に 大きくなるのを 助ける 状況をつくります
- ③ こどもたちが 安心して いられる 場所をつくります
- ④ こどもたちが 心と 体の 健康について ちゃんと 知ること
ができるようにして、困っている ことを 一緒に 考えます
- ⑤ こどもたちが おとなに なったときに、自分で 仕事をして
生活できるように、知っている ことを 増やします
- ⑥ いじめが 無くなるように します。いじめが あったら
早く 見つけて、困っている ことを 一緒に 考えます
- ⑦ 学校に 行ってなくても、学べるように します
- ⑧ 学校の きまりを、みんなで 話し合っ、もっと
良いものに します
- ⑨ 学校で 心や 体が つらくならないように、
こどもの そばで 話を 聞きます
- ⑩ 高校を 途中で やめないように します。
高校を 途中で やめても 次に 進めるように 助けます





青年期（18歳から）

- ① 高校を出た後もしっかりと学べるようにします。
おとなになってもずっと学べる場所を目指します
- ② 若者が自分で生活できるようにします。
若者が働くことを助けます
- ③ 結婚したい人が結婚できるよう助けます
- ④ 若者や若者と一緒に住んでいる人が、
困っていることを一緒に考えます



Ⅲ まわりのみんなと一緒に子どもを育てるひとを
助けるためにすること



① まわりのみんなと一緒に子どもを育てる
場所をつくれます



② 家にいるおとなと一緒に子どもを
育てるようにします

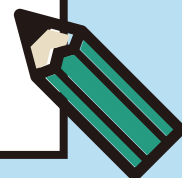


③ 子どもを育てることと子どもの学びに
必要なお金を、少力で済むようにします



④ ひとりで子どもを育てているひとを
助けます

こども・若者の^{わか もの}考え^{かんが}を^{たい せつ}大切に^{しま}す



こども・若者^{わか もの}についての^{わか もの}ことを^{はい}しっかりと^{かい ぎ}やっていくために、^{ひら}おとなだけでなく、こども・若者も^{かんが}入る^{かい ぎ}会議^{ひら}を開きます。

そこで、いろいろな^{かんが}考え^きを^{けい かく}聞いて、^{はな}計画^{い ち}が^{かんが}どれくらい^きできているか^{はな}話^{い ち}して、^{かんが}みんなでもう一度^きよく^き考え^きます。

こども・若者と^{いっしょ}一緒に^{しゃ かい}社会^{かんが}をつくりたいと^{かんが}考えています。
こども・若者の^{わか もの}考え^{かんが}を取り入れるために、^{あん しん}安心して^{い けん}意見^いを^い言^いえる^い場所^いや^い機会^いをつくり^います。

こどもの^{けん り じょう やく}権利条約^しについて^し知ろう！

こどもは、^{よわ}「弱^{まも}くて^{そんざい}おとなから^し守^しられる^し存在^し」だけでは^しありません。
こどもは、おとなと^{おな}同じ^{にん げん}ように、^{たい せつ}「ひとりの^{けん り}人間^{じん けん}として^{けん り}大切^{じん けん}にされる^{けん り}権利^{じん けん}（人権）」
を^{けん り}もっています。それだけでなく、こどもが^{おお}大きくなるのに^{まも}あわせて、^{まも}守^{まも}られる、
^{たす}助け^{けん り}られる^{けん り}権利^{けん り}を^{けん り}もっています。これらの^{けん り}権利^{けん り}の^{けん り}ことを^{けん り}こどもの^{けん り}権利^{けん り}と^{けん り}いいます。

「こどもの^{けん り じょう やく}権利条約^き」には^き4つの^き決まり^きが^きあります



^{さ べつ}差別^{きん し}の^{さ べつ}禁止^{きん し}（差別^{きん し}の^{きん し}ないこと）

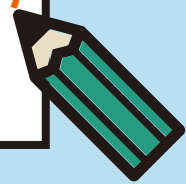
^{せい めい}生命^{せい ぞん およ}、^{はったつ}生存^{たい}及び^{たい}発^{たい}達^{たい}に^{たい}対^{たい}する^{たい}
^{けん り}権利^{けん り}（命^{いのち}を^{まも}守^{おお}られ^{おお}大^{おお}きく^{おお}なれること）

^{さい ぜん}最^{り えき}善^{り えき}の^{り えき}利益^{り えき}
（こどもにとって^{もっ}最^もも^もよいこと）

^{い けん}こ^{そん ちよう}どもの^{そん ちよう}意見^{そん ちよう}の^{そん ちよう}尊^{そん ちよう}重^{そん ちよう}
（考^{かんが}えを^い言^いって^い一^{いっしょ}緒^{いっしょ}に^{かつどう}活^{かつどう}動^{かつどう}できること）

これまでに ^{き と} 受け取った ^{わか もの} こども・若者からの

^{かんが} 考えと ^{けん} 県からの ^{こた} 答え



^{い けん} 意見

^{ひと} まわりの人と ^{いっしょ} もっと ^{なに} 一緒に何かしたい



^{こた} 答え

^{ひと いっしょ なに} まわりの人と一緒に何かすることはとても
^{たいせつ} 大切だと ^{かんが} 考えます。考えは、^{まち} 街を ^よ 良くすることを
している ^{しちょうそん} 市町村にも ^{つた} 伝え、これから ^{けん} 県が
やることの ^て 手がかりにします。



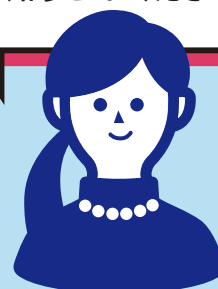
^{い けん} 意見

^{じ ぶん} 自分の ^{がっこう} すぐそばや学校に ^い 行く
^{みち} 道に ^{あぶ} 危ないところがあるので
^{てんけん} 点検して ^{なお} 直してほしい



^{こた} 答え

^{がっこう い みち} 学校に行く道や ^{あんぜん} まわりが安全なことは、^{たいせつ} 大切だと
^{かんが} 考えています。歩く人と ^{ある} 車が ^{ひと} 一緒に ^{くるま} ならないようにする
^{しんごう} 信号をつけるなど、^{あんぜん} 安全な ^{せいかつ} 生活の ^{ばしょ} 場所を ^{ととの} 整えています。
まわりで ^{あぶ} 危ない場所 ^{ばしょ} に ^き 気がついた時は、
^{とも} 友だちや ^{おとな} おとなにも ^し 知らせてください。



^{い けん} 意見

^{あそ} みんなで ^{こうえん} 遊べる公園
を ^ふ 増やしてほしい



^{こた} 答え

^{たの} みんなで ^{あそ} 楽しく ^{うんどう} 遊んだり、運動を ^{たの} することができる
^{ばしょ} 場所は ^{こども} こどもにとって ^{たいせつ} 大切だと ^{かんが} 考えています。

『こども まんなか まちづくり』として
^{こうえん} まちの公園を ^{ととの} 整えます。



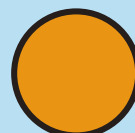
意見

まつ けん じ ぶん
お祭りや、自分たちの
す ば しょ たの もよお
住む場所の 楽しい 催しを
ふ
増やしてほしい



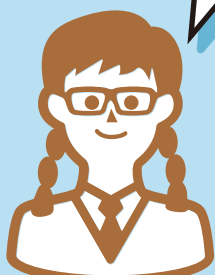
こた 答え

まつ たの もよお す
お祭りや 楽しい 催しは、そこに 住む おとなと こどもが
なかよ ほか ば しょ き ひと なかよ
仲良くなり、他の 場所から 来た 人とも 仲良くなれる
たいせつ おも かんが かんが し ちょうそん つた
大切な ことだ と思います。考えは 市町村にも 伝え、
これから 県が やることの 手がかりに します。



意見

ち ば けん ひと き
千葉県に もっと 人が 来て、
おお よ
大きく 良くなって ほしい



こた 答え



す ひと りょうこう ひと みせ
住んでいる人・旅行の人・お店を
ふ にぎ ば しょ
増やして、賑やかな 場所をつくって
いく ことは、とても 大切な ことだと
かんが たいせつ
考えています。たくさんの 自然や
じょう ちいき つか
ゴルフ場などの「地域の 使えるもの」
じょうず つか たいせつ
を 上手に 使うことも 大切です。
けん
県は、いろいろな ことを やって、
ば しょ たす
このような 場所づくりを 助けて
いきます。



意見

かんが
おとなの 考えだけを STOP
き
聞かせないで、もっと こども
はなし き
の 話を 聞いて ほしい



こた 答え

わかもの かんが き
これからも、こどもや 若者の 考えを しっかり 聞いて
かんが じょうほう おし あ
いきます。考えや 情報を 教え合えれば
よ かんが
良いと 考えています。



ちばけん わかもの
千葉県こども・若者みらいプラン
にほんごばん
やさしい日本語版



はっこう ちばけんけんこうふくしぶこそだしえんか
【発行】千葉県健康福祉部子育て支援課
ちばしちゅうおうくいちばちょうばんごう
〒260-8667 千葉市中央区市場町1番1号
TEL: 043-223-4502

か
※書いてあることについて

ほん
この本は、わかりやすさを大切にしています。

けいかく いちぶ
そのため、計画の一部をなくし、わかりやすい書き方にしています。

じょうほう ひと ちばけん わかもの
もっとくわしい情報がほしい人は、「千葉県こども・若者みらいプラン」を見てください。



ちばけん わかもの
「千葉県こども・若者みらいプラン」

けいさい
掲載サイト：<https://www.pref.chiba.lg.jp/kosodate/kodomokeikaku/index.html>